



さるま^{58/9}

第311号

発行 佐呂間町役場 印刷 井谷印刷株式会社



若い力をそだて

伸びゆく文化のまちをつくります。

(町民運動会)

佐呂間町民憲章

八月二十八日、第五回の町民運動会が総合グラウンドで行なわれ、西富西富公住・北・東チームが五十六年からの総合三連勝を飾りました。

昨年、一昨年と雨模様様の天気で選手、大会関係者を悩ませましたが、今年は朝から青空が広がり絶好の運動会日和となり、各地区十一チームが参加しさわやかな夏の日に心地よい汗を流しました。

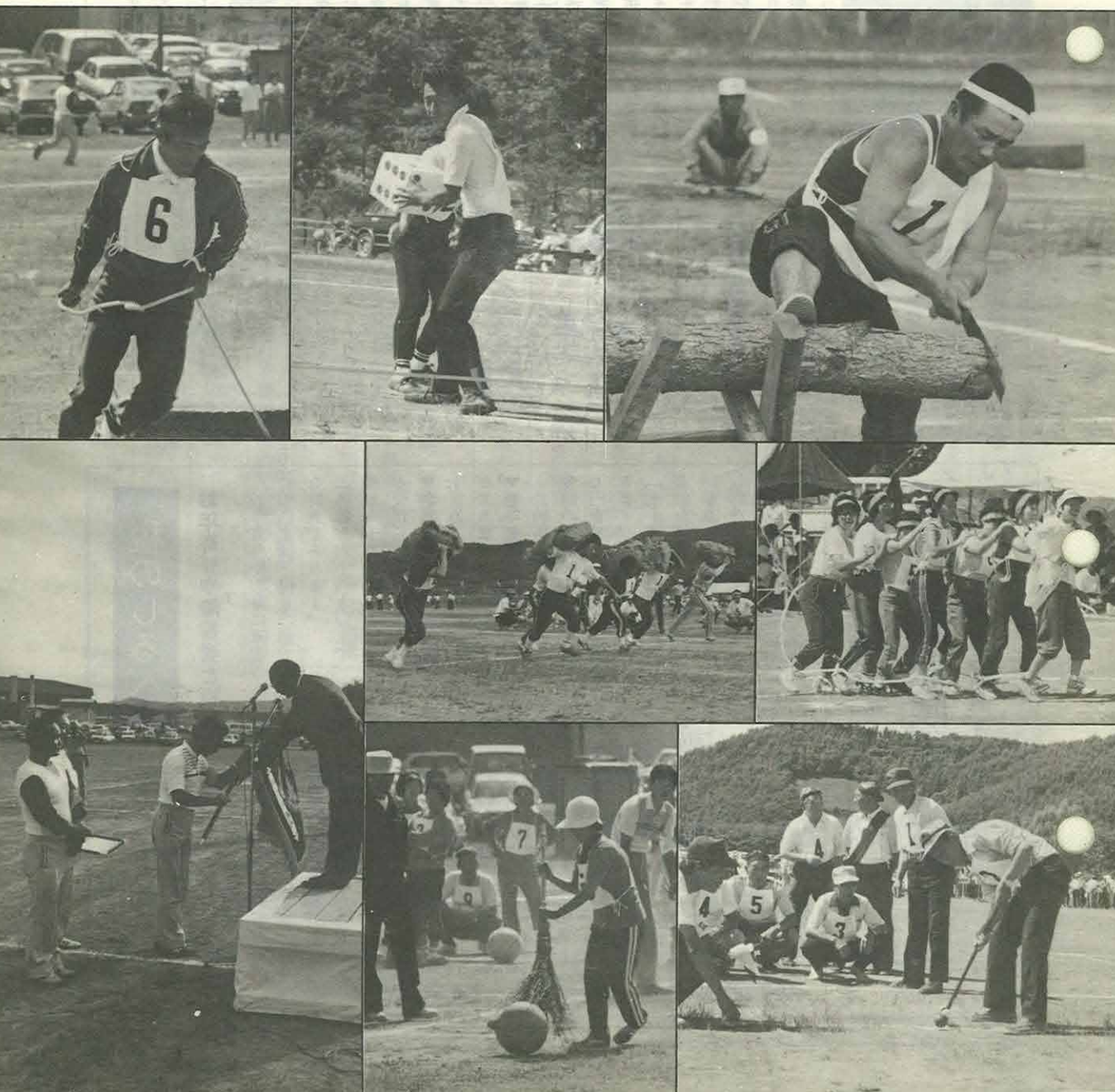
町民運動会 == チーム



成績表

順位	チーム名	得点
1位	西富・西富公住・北・東	293
2位	市街 B	272
3位	若 里	267
4位	市街 A	251
5位	若 佐	251
6位	ピンクパンサー	247
7位	朝 富 武	244
8位	知 来	222
9位	仁 倉	222
10位	浜 幌	212
11位	市街 C	205

V3 第5回 西富・西富公住 北・東



老後の生活と年金

年金制度に対する一般の関心は年々急速に高まってきています。

昔は、年金と言っても一部の人の限られていたため「年金」に対する認識がうすくマスコミで取り上げられることも少く、また、取り上げたとしてもきわめて小さなものでした。現在、わ

が国は若い国から老人国へと向かい始めたこともあり年金の関心もだんだん高くなってきています。

近い将来あるいは遠い将来、誰れもが「年金生活」に直面します。

近い将来、年金生活者になる方は毎年の年金額引き上げに関心をもたれると思います。

年金額が引き上げられる反面、保険料も上がっておりますが、保険料が上がることに對しては、抵抗観念は少ないでしょう。

それはもう自分の年金として身近かに感じているからです。

しかし、遠い将来に年金を受給する人には、年金額がいくらであるうと、現実は今納める保険料に對して、高い高いと不満をもっている方が多いと思います。

このことはまだ将来の年金に對して深く考えていないからでしょう。

しかし、老後くらいは「安心して生活したい」と誰れもがそう願っているはずで

他の厚生年金、共済組合などの公的年金は家族を単位としており勤め先で手続きだとか保険料の納付もしてくれませんが、国民年金は個人型年金ですから自分で加入の届出や保険料を自発的に納めていなくてはなりません。

加入しているながら保険料を納め忘れ、年をとってからあわててもおそすぎます。

加入している方は、自分のための年金ですから、もっと関心を深めることが大切です。

たとえば老後に、どのくらいの年金がもらえるのか、万が一の時どんな保障があるのか、その時

どんな届が必要なのか、知っておくことも必要です。

年金を確実に受けとるためにもまず、自分の年令にあわせて加入期間、保険料の納付期間など再確認してはいかがでしょうか。年をとってからあわてないためにも若いうちから自分の国民年金を柱とした老後の生活設計を立てておくことは、これからの高齢化社会に向かつて、大切なことです。



国民年金普及推進月間

国民年金相談コーナーを

利用しましょう

九月、十月は、国民年金普及推進月間です。

役場年金係では国民年金相談コーナーを開設し、みなさんからの相談をお待ちしております。

日頃、年金のことではわからないことや疑問に思っていることなどを、お気軽に相談してください。

税のしるべ

お年寄りや障害者と税金

お年寄りや心身に障害のある方については、税金の面で次のような特典があります。

（年齢が六十五才以上で、所得金額が一千万円以下のお年寄り本人が受けられる控除）

▼老年者控除……所得金額から二十万を差し引くことができます。

▼老年者年金特別控除……公的年金や恩給の収入金額の合計額から七十八万円を差し引くことができます。

（七十歳以上の障害者でないお年寄りを扶養している方の所得金額から差し引かれる控除）

▼老人扶養控除……三十万（同居している両

親や祖父母については四十万円）

▼老人配偶者控除……三十五万円（心身障害者本人や心身障害者を扶養している方の所得金額から差し引かれる控除）

▼障害者控除……二十万（特別障害者の場合は三十一万円）

▼同居の特別障害者の扶養（配偶者）控除……二十四万円（これらをまとめますと、別表のとおりとなります。）

控除の種類	控除額
配偶者控除	一般の控除対象配偶者 290,000
	同居特別障害者である控除対象配偶者 340,000
	老人控除対象配偶者 350,000
扶養控除	一般の扶養親族 290,000
	同居特別障害者である扶養親族 340,000
	老人扶養親族 同居老親等 400,000
	同居老親等 同居老親等 350,000
障害者控除	一般の障害者 230,000
	特別障害者 310,000
老年者控除	230,000

※老年者年金特別控除……780,000円（公的年金等の収入金額から控除）

今月の納税は 国民健康保険税（二期）です

今月も忘れず納税して下さい

9月28日

議会のうごき

第2回 定例町議会

一般質問

六月二十八日から二十九日まで開かれた第二回定例議会において、七名の議員が十五項目について質問をしました。

そのあらましは、次のとおりです。

農 業

国営明渠排水

工事について

○千葉議員

昨年、武士川の最終点まで完了しておりますが、支流との合流点の工事完了地域で決壊等の二次的な災害が起きる恐れが心配される所がありますので、今後の考え方を伺います。

○産業課長

武士川の工事は、五十七年度で完了し、町に引き継ぎをするため五十八年度で完了整備事業が行な

われることになっております。

これは、工事期間各支流から流れて来ております土砂の堆積の除去、柳等の伐採を行うものでこれを完了してから引き継ぎをする事になっております。

したがって国営明渠の中に入っております土砂、柳等は全部整備されることになっております。

また整備の箇所については町と

開発とで合同調査をしておりますので、ご指摘のあった支流についても全部調査をしております。

この中で二十線の沢川あるいは栃木の川、武士川の上流の支流については畑総団体営の明渠排水事業に入っております。

したがってこの事業につきましては期成会で順位を決めて施工することになっております。

○千葉議員

畑総以外の二十一線、二十二線の間の佐久間氏付近の川、十五線の川等は、どうしても川床が下がらないか、農地がいたまないか、現状を検討していただきたいが再度伺います。

○産業課長

十五線の井上の沢川の問題は、期成会から残工事の中で行って欲しいとのことで、今後、道との交渉になって来ようと思えますし、佐久間氏付近の川の現状は、それほど掘削はございません。

また、武士川上流の道路は、土現で災害復旧工事で施工されておりますが、期成会と話し合いをいたし考えたいと思えます。

なお、畑総以外の決壊の恐れ

ある箇所の問題は、開発局では取付けで完了しており、行わないと思えますし、更に町が行うことにはなりませんので、掘削、決壊になり災害の適用を受ければ、災害で施工する以外にございません。

町営牧野管理

道路の整備を

○室井議員

牧野の急傾斜面での肥料散布にウニモグを導入し、牧野の作業の合理化を図ってまいりましたが、今春、ウニモグが転倒し、人身事故はありませんでしたが、一部、車が破損する事故が発生しました。また、ウニモグに取付けた散布機械は大変重く、運転者も急傾斜な箇所は極めて危険を感じております。

このようなことから町内の急傾斜な牧野に道路を付け、肥料の運搬、散布に都合のよいようにするなど事故発生後、牧野連合会等との協議、対策がなされていればお伺いします。

○産業課長

現場を見て来ましたが、朝日牧野で作業中、おりて来て平らになつてから方向転換を行う際、タイヤが石に乗り転倒した訳で、人身



〔牧野の肥料散布に活躍するウニモグ〕

事故がなくて幸いだったと思います。

また、急傾斜な牧野の管理道路について、各牧野の組合長さんと協議をいたしまして、ウニモグが充分に使用出来る道路をつくっておりますが、更に再点検いたしまして、無理な点は徐々に直してまいりたいと考えております。

牧野利用組合統合による利用状況と今後の考え方

○定久議員

若佐地区は昨年、佐呂間地区は今年から牧野利用組合が合併し事業が進められておりますが、今年の各牧野毎の入牧可能頭数に対する入牧実頭数の結果からみて途中で早期下牧の心配の牧野があれば牧野名をお伺いします。

また、今年の各授精牧野の授精希望牛の入牧状況について、どの牧野にどの部落から何頭かお伺いします。

なお、今年の牧野の利用区分は授精牛とその他の牛に分けて入牧されたようで、このため入牧をやめた方もいたように聞いており、授精牧野には授精希望牛と授精済の牛を入れ、その他の牧野に授精前の牛を入れることが畜主の管理

上最も都合がよく入牧頭数も増えると考えますが、お伺いします。

また、現在、一部落の授精牛も収容出来ない小面積の円山牧野を授精牧野にしたのは、間違っていたのではないかと考え、土地の買収、借受で牧野を拡張し施設の有効利用を図る考え方をお伺いします。

なお、今年、円山牧野で廃根の穴に牛が落ち死亡事故が発生しましたが、危険箇所への対応はどのようになっているか、他の牧野に危険箇所はないのかどうか。また、事故死の場合、組合員の互助制度の必要性についてお伺いします。

○産業課長



(円山牧野)

町と各牧野利用組合長と協議をいたし、今年の入牧可能頭数は、一、八七〇頭、六月二十四日現在の入牧状況は、一、八五五頭で、一般牛一、一六〇頭、人工授精牛六九五頭、六月中の入牧予想頭数六四頭となっており、下牧の心配は現状ではございませんが、今後発生しましたら、その牧野利用組合と色々協議をいたし、対処したいと考えております。

また、現在、人工授精牛の各部落からの入牧状況は把握いたしておりますませんが、人工授精牧野の授精希望頭数は、大成第一、一一〇頭、中園二一〇頭、北二〇〇頭、尚和二〇〇頭、円山八〇頭で、現在、可能頭数に対してかなり下回っております。当初、全授精牧野に満度に入らない経緯があり恐らく来年は計画通り入牧されるものと考えております。

なお、円山牧野は、総体的に北尚和を含めた中で設定をした経緯があり、間違いないと考えております。

また、公共育成牧野の今後の整備は、明年度は仁倉一四ha、尚和七・六ha、六十年度は知来第一、一六・六ha、仁倉三〇ha実施を考えており、各牧野の移動監視人の無線機は、六月二十四日から開局しており、人工授精牧野の電話設置は、七月中旬完了の予定で、現

在、若佐から敷設を取り進めており、今後の人工授精牛、事故牛の早期発見、早期治療を充分にしたい。その他、整備予定として大成第二牧野を暗渠排水等を含めて均平化したしたい。更に、老朽牧野の更新を計画的に実施いたしたく、現在検討いたしております。

なお、円山牧野で、過去、造成時、立木を投棄し覆土していた所が牧道になり牛が入り大変迷惑をかけておりますが、その後、各牧野利用組合長に危険箇所を見つけて次第、手入れをいたしたいとお願いしており、互助制度の問題も組合長と話し合いを進めております。

○定久議員

授精牧野で授精希望牛のみとなれば、最後まで入牧することとなり、途中で下牧しなければ草不足の状況が起こると思いますし、授精牛を違う所へ入れて、もしもその牛が授精していなかったとか、売却する場合を考え、畜主は授精牧野として管理の行き届く所に入りたいと考えます。

授精牧野に授精希望牛と授精済の牛を、その他の牧野に授精前の牛を区分して入牧させる考え方を伺います。

また、現在のように授精以外の牛を授精牧野に入れるとするならば、その他の牧野も病氣以外は下

牧のないように、牧区の切り替えなりして管理のし易いようにして更に牛がすぐにわかり、つかめるように変える必要があると考えますが、お伺いします。

○産業課長

佐呂間地区の人工授精牛の入牧予定数は、四八〇頭、希望は、三七六頭で余裕がありますので、組合長会議の話し合いの結果、一般牛も入牧させている経緯があります。

また、人工授精が終わったら、すぐに他の牧野に移すことは現在行っており、あくまでも鑑定の必要な牛を人工授精牛として人工授精牧野に入牧させております。

なお、他の牧野の牛をよく発見出来て一望出来る牧区替えは、各牧野組合長の牧野内の協議がなされた内容で、らせん式状でほとんど行っております。

家畜市場の開設と農産物加工事業について

○中原議員

現在、端野の排牛内と紋別に家畜市場がありますが、以前からの課題として、今後、行政上の配慮の中で、生産者、家畜商、農業団体共、公正な形で取引出来る場として、本町に家畜市場をつくる

べきでないかと考えますが、お伺いします。

また、地場産業の振興として、農産物加工事業については、その後、どのように進んでいるのかお伺いします。

○町長

行政上の立場で、そう簡単に解決出来る問題ではございませんし現在、広域的市場と云うことになっており、端野、紋別にありますから、ホクレンにもついても仲々まとまる話ではないものと考えております。

また、公正な取引を行うための方法として農協独自で家畜市場を開くことは禁止されている行為ではないものと思っておりますので、農協の考え方を伺ってみたいと考えております。

なお、農産加工の問題は、農協で特別委員会をつくり、補助金を対象にして施設をある程度つくるかどうか等鋭意検討しておりますが、七月中旬位までに結論を出さないと五十九年の補助ベースにのりませんから、早くに結論が出るものと考えております。

補助金のつかないものについては、農協の態度が鮮明になってから、本年一部着工する等対応いたしてまいりたいと考えております

○中原議員

本町の家畜市場は、網走管内畜産振興のため役に立つ要素をもっている所でありますから、真剣に取り組む必要があると考えますが再度お伺いします。

○町長

端野の市場には、根釧、十勝、上川から来ており、道東の家畜市場となつております。

人間の数より牛の数が何倍も多い根釧地方でさえ家畜市場をもっていない、こういう環境を考え、本町の牛が一万頭いるからといって、ホクレン、農協が家畜市場をやリ得るだけの要素はないだろうと考えております。

林業

林協若佐工場と

四の字加工の併設は

○石村議員

先ず、若佐工場の株式の総額と持株の内訳、更に、半年間操業した現在の状況と今後の経営の見通しについてお伺いします。

また、四の字工法の併設に伴う株式の増加の内訳についてお伺いします。

なお、当初予想された国・道の補助額と町の補助額についてお伺いします。

また、国・道の補助を拒否する一番目の理由として、中古機械を入れることが出来ないとのことですが、あとで独自に買うことは可能であろうと考えますし、補助をする側としては事業の見通しのためには色々聞くのが当然であり企業秘密、販売に制約を受けることは全ての補助事業において当然であり身勝手でないかと考え、道は市場等に細かい制約を行つていいのかお伺いします。

○町長

林協若佐工場への出資は、まだ求めておらず、今は、林協直営の形で行つております。

若佐工場の三月末現在の借入金九四、七三四千円、未払金七、七五五千円、一月からの製品三三、五三九千円、棚卸資産の内、素材が四、五六六千円となつてあります。

将来は林協の会計から独立した形になるかも知れません。

なお、利益を生じた場合、現在払戻しをいたしておらず、全部、林協の経営資金に充当する経営方

(林協若佐工場)



式をとっております。

また、若佐工場では、大変良い製品が出来ており、今までより販売権が広がり以前から桶瀬木材が販売権を持つて遠軽で生産していたよりも生産量が多くなり、明年は他所の工場に出荷出来ない位の注文が来るのではないだろうかと考えており、大変先行きが明るい状況でございます。

なお、四の字加工の問題ですが本年度、国は除間伐材の施設に対する予算を七、四〇〇万円組んでおりますが、全国で大体三工場を予定しており、この三つで分配するのでたいした補助額ではありません。さらに道の補助金が四千万円位ついたとしても、当初の一億

九千万円からみて、町が半分補助しても、六千万円の額は超えるのではないかと考えております。

また、補助対象の工場の機械は全部新しくしなければなりません。さらに道に対して技術面も含めて全公開をしなければ補助金は出ないということであります。

また、既存の企業を道が擁護し補助金を出すかわりに道内での販売は駄目だとのことで、林協理事長と道林産課長との話し合いは物別れに終わり、林協は、肝心の機械は新しいものを買い、あとは中古の機械で安上がりの工場を完成し資金面は、町が介入し、金融機関から七・五割の資金で三年据置き五年払いの資金を借入れる見通しがつき、林協も実行に移す計画になつております。

○石村議員

道が補助したら道内で未来永劫に亘り販売しては駄目だといっているのではないかと考えますが、再度お伺いします。

また、カラマツ材が今の安い原材料の価格のまま推移しては、町が補助をした価値がないので、今後、配慮をする必要があると考えますがお伺いします。

途中でやめられる人もおられる様なので、若佐工場が地域住民に愛されるために調査をし、改善

すべきものは改善の努力をお願いします。

○町長

消流問題は、道と林協、我々が話し合いの中で元に戻すことは不可能であります。

また、工場が出来ないとカラマツ対策を進めることは出来ません。現在、四、七〇〇ha余のカラマツを抱えている多くの零細経営者は、間伐を行っても手出しをしなければならず大変困っており、林協の資料によれば、一日五〇石位年間一万石以上原木を消費し、現在の買入れ価格より一五割位高く買えるだろうとなっており、工場が出来ると現在の若佐工場に相当する三〇人位、人員が必要になり雇用の場の確保にもつながり、本町経済全体が膨張し、メリットは充分考えられます。

また、カラマツの問題は、今、多くの町民が欲してやまない大きな課題であり、この解決のため行政的に取り組んでいく決心でございます。

なお、工場の設備等の問題で、途中でやめられる人もいるというこの間の事情は、まだ何も伺っておりませんが、努めて町が多額の投資をいたした工場ですから、本当に働きやすい環境で仕事を行っていただくため、我々も今後努めて

いかなければならないと考えております。

カラマツ加工工場 新設事業について

○堀 議員

町内における民有林、国有林の中で、カラマツの占める割合についてお伺いします。

また、工場新設によって原木の買入れ価格は現時点で生産者に一五割アップ程度見込まれるとのことですが、どの辺まで信頼出来る場合があるのか再度お伺いします。なお、ここ数年間に林業界に対し町補助金が、昨年、林協若佐工



(カラマツ加工工場)

場への一六、一七八千円を最高にかんりの金額に及んでおり、今回の六千万円は、この厳しい町財政の中から住民感情をも考慮した場合、高過ぎるのではないかと考えますが、お伺いします。

○町長

現在、国有林、民有林を合わせて造林面積は、一、八三三haでこの内、カラマツの面積は、四〇割になっております。

また、こういう厳しい財政事情の中から出す訳ですから、かなり有利性が期待されなければ、町民に理解を求めることにはなりません。今まで出していた北斗林産、山田工場跡地、パークツツの問題について、我々接触した多くの方々の意見を聞いても、住民感情をこのために悪くしたという考えはもっておらず、やはり、ある場合においては、勇断をもって敏捷に対応することが町の経済の衰退を防ぐことになると考えます。

なお、四の字加工の有利性として、カラマツの価格が大体一五割位高く買入れることが出来、年間一万四千石消費することにより、価格も上昇し、林業という町の資源を大事に育てていく作用を果たしていくものと思われ、更に大体三〇人位の雇用対策になり、完全操業の場合、年間三億四千万

円、四億円の生産が挙がり、町全体の経済発展のために寄与することが出来るであろうと考え、あらゆる機会を通して町民の深い理解を求めることに努めてまいりたいと考えております。

○堀 議員

四の字加工を全道に先駆けて行うことは、企業的にも五年後二千万円の黒字が見込まれ、相当有利だと考え、貸付にすれば林協は行わないといわれますが、林協自身は、この事業に対して意欲的積極的な見通しをもっておられるかどうかお伺いします。

○町長

一部貸付の交渉はいたしておりますが、一億円以上の設備・運転資金がかかり、貸付により設備をすることには、拒否反応が強い訳でございます。

また、企業としてかなり健全性をもってもらわなければならないことは当然で、将来の安定化が望まれますが、やはり現在の林業界は大変先行き不安といわれており林協としても慎重にならざるを得ないのではないだろうかと考えております。

林協若佐工場の 雇用状況は

○堀 議員

林協若佐工場設置については、山田工場の転出などから雇用対策が大きな要因となっておりますが、現在の雇用状況はどうなっているのか。特に、町内の人達がどのような条件で雇用されているのかお伺いします。

○町長

現在、大体三〇名が雇用されており、町外からは、工場長、工場次長、機械の技術屋等四名、旧山田工場の従業員二十六名で、今まで注文が刹到してまいりますと、九時頃まで夜業をしており、これらは、パートで充足しているとのことであります。

漁業

養殖ホタテの 死因説明は

○室井議員

町長は、施政方針で、今後は道

外の大学の専門的な学術機関に依頼してでも養殖ホタテの死因解明をいたしたいと意志表明をいたしておりますが、どのように進めておられるかお伺いします。

また、この際、思いきって予算化をし、高度な学術機関を要請して、一年なり二年、三町三漁組共同で施設を設置し、徹底的な掘り下げをしてみてもどうかお伺いします。

○町長

基本的には、道立網走水産試験場が中心になり、継続的な調査を行っており、手に負えないものは道が出資をして設立している北海道栽培漁業センターから調査員が来て、色々調査、協力を願っておりますが、えさの関係、酸素の状態、水温、海底の堆積の状況について、基本的な調査を積み重ねていかなければ解明が出来ないと考えております。

また、三組合で養殖組合をつくり、色々ホタテの対策等を取り進めており、現在、網走漁組で、昨年からは東北大学に依頼し、現地で調査研究を行っておりますので、漁組に東北大学に依頼し高度な調査を行うこともお話ししてあります。

なお、水産試験場の増養殖部長が今春交替し、元サロマ湖のホタ

テ養殖を指導された方が部長となりましたので、今まで以上の積極的な試験が出来ると期待いたしております、なるべく早く原因の究明をし、養殖ホタテを開発した所に相応した成果を挙げる努力をしなければならぬと考えております。

また、環境の問題と合わせて、今年、秋までにおいて六〇割がへい死しては困りますので、生産額は半分にありますが、秋出荷するものを五月に九〇割位出荷を終え海を空にし、湖内の水質の改善を図り、徹底した管理を進めております。

ドナルドソンの

養殖ふ化事業は

○室井議員

町長は、新しい試みとして、ドナルドソンの養殖ふ化事業を行うと表名されましたが、養殖ふ化しからの採算制、消流関係等の見直し、具体的な現在の進み方についてお伺いします。

○町長

米国の大学教授の名前をとったドナルドソンという魚は、ニジマスに似た魚で淡水魚にはおおいしく、海に入ると身が赤くなる

(ドナルドソンふ化場 西興部)



性質を持ち、水温は、夏で二十五・六度まで冬は水温が下がっても大丈夫という魚で、成長度が大変速く、何とか本町の名産にしたいと考えております。

また、四月、漁組組合長、議長と西興部の現場へ行って見せてもらっており、現在、計画として、仁倉川上流から表流水を取り、山下氏の上の土地を購入し、養殖施設をつくりたい考えで、三〇cmの管で落差五・六mの場合、一時間当たりの水量はどのくらいか、また企業としての採算は合うか等の調査を行っております。

先般、飼育者(渡辺氏)に本町へお出でを願い、現地の状況を見ていただき、大変、条件の良い所

であると折り紙をつけていただいております、積極的なご指導、ご協力もいただけるようになっております。

また、施設費も驚くほどかかりませんから、九月定例議会までに計画を出し、出来れば年内に施設を設置し始めたいと考えておりますが、いずれ担当の産業建設常任委員会で検討していただくことになろうと思っておりますので、機会があれば現地を見ていただくことが望ましいと考えております。

オホーツク

漁業開発について

○中原議員

今年は、外海ホタテの漁獲の配分比率の改正の時期と聞いておりますので、配分比率の改善を行い、サロマ湖内の行政区域を変更し、ワツカは本町の行政区域に入れるべきで、また、佐呂間、常呂両漁組が合併して、サロマ湖内もオホーツク沿岸も、三漁組が平等の立場で漁業に専念できるようにするのは、行政の力ではないかと考えますがお伺いします。

○町長

サロマ湖内水面の行政区域は、大体五〇㎞で三分分されております

すが、漁業権は三組合共同漁業権となっており、組合員数により佐呂間二〇、常呂、湧別四〇づつで組合員数の変化に伴い変更も有り得ますが、今の組合員の状況では仲々そう簡単に変えられないだろうと考えております。

また、外海のホタテ資源である程度生活費を生み出して、昨年、湧別の戸当りの外海ホタテの配当金は、多い人で一千三、四百万円で、佐呂間は、一千万円そこそこ差がついており、外海はある程度、行政区域により海区が仕切られており、今、合併の話をしてもとてもまとまる話ではないと思います。

なお、外海の圏域設定は、戦後常呂組合から分離した際に決められ、現在は、八〇%と二〇%になっておりますので、今年の漁組の総会にも、常呂と充分話し合いをして、外海の配当の差をなるべく縮めていく努力をしなければならぬといっております。

共同漁業権はあくまでも平等でなければならぬと漁業法の中にも現定されており、十年前の切り替えの際には、持ち分が一八であったため、あまりにもひどいので私と常呂町長が中に入り、二〇に話し合いを付けた経緯もあり、今年の切り替えの状況を、もう少し注目しなければなりません、組合

員数からいって、八〇と二〇は、まあまあという線であり、今年の切り替えは、あるいは現状で推移するのではないだろうかと考えております。

観光

サロマ湖観光開発 基本構想計画について

○石村議員

東海興業から出された計画書は総額約五〇億円で、夢のある計画であると思いますが、町長は、どういふふうな気持ちで、これを見たのかお伺いします。

また、この計画を実行するとすれば大変なことです、観光関係の業界の方々は、どのように感じとっているのかお伺いします。

○町長

この計画は、全く相手に任せただけではなく、何度か我々の意志を中心にして我々の考え方をまとめたものであります。

今後の進め方として、先ず町内各界各層の方のご意見を聞いて

町内的なコンセンサスを得なければなりません。

また、相並行して国有林の活用について、国有林野の意向がどうなのか現在進めており、先般、佐呂間営林署長、次長、関係の担当者と一緒に幌岩山と華苑から浪速までの森林の状態を一日がかりで見えております。

署長から北見営林支局長に現地の状況を説明し、五十七年度末で計画を林野庁に挙げることになっておりますので、営林支局から林野庁に本町概要の内申をいたしておりますが、やはり、自然の保護、環境を汚染しない等の大項目を守りながら本町の観光開発をどう進めていくか。更に町には資金がございませんから、やはり第三セクターを考えていかなければなりませんし、また、独自で観光開発を希望する企業体がございます。たら、話し合いをする必要があります。

なお、国定公園の地域内であり最終計画案が出来た際、今度は、国定公園の審議会にかけなければならず、難色を示して来ることが当然予想されます。

これらが相並行して進んでいかなければ、この計画の実現性はございませんし、本町の経済に大きく貢献をする計画でなければならぬと考えております。

○石村議員

膨大な理想的な計画で一番心配なのは資金の問題で、一つの大きな会社があれば地元関係業者の入りが余りなく、特定の者に独占される心配があり、町民の意志とはそぐわない感じがしますが再度お伺いします。

○町長

町民のコンセンサスを待って、最終計画が出来て、この計画にそつて事を進めていく訳ですから、そのような法外な民間企業の進出になつて来ないと考えております。

衛生

若佐地区の 粗大ゴミの収集は

○千葉議員

この問題は、昨年十二月、ご質問申し上げ、五十八年度から衛生カレンダー等に掲載し計画しますというでしたが、まだ一回も実施されていない経過と問題点についてお伺いします。

○民生課長

本町の粗大ゴミの収集は、有料で実施したいと自治会にも申し出ておりますが、有料となりますと、①業者が幌岩までの運搬料金に合うかどうか。②料金を大ききで決めるか、また、重量で決めるか。③ステーションにしたのでは料金がいだけない。④日中持つて来ることは共稼ぎ家庭には出来ない等問題点がございしますので、何らかの方法を、もう少し細かく業者と検討したいと、考えておりもう少し時間を貸していただきたい。

○千葉議員

若佐のゴミ処理場を閉鎖する時若佐自治会との話し合いの中で約束事がなかったのかどうかお伺いします。

また、有料にする場合、個人毎の徴収ではなく、自治会単位で行う方法が考えられますが、再度お伺いします。

○民生課長

若佐のゴミ処理場の廃止の折、若佐自治会との話し合いの中で、無料で行うとありますが、この条件も提示してはございませんし、こういうお話もいたした覚えはございません。

また、只今の提案についても、検討はしたいと思いますが、

教育

開拓資料室の 展示資料の収集と 運営管理は

○田宮議員

開拓資料室は、いつも戸が閉まつたままで、十分に活用されていゝとは思われません。

また、榮、若佐地区において収集された開拓時代の日用品、農機具等の保管展示場所がなく、折角苦労して収集した品々が、人目に触れず眠っているのは、所期の目的が全く果たせないと思われまして、町において一括保管展示をし、観光客、町内の方々が気軽に足を運べるように資料室の増設を行い、開拓の足跡を残す資料室としての運営管理を行う考え方にについてお伺いします。

○教育長

開拓資料室運営委員に近くお集

仲々難しいのではないかと判断されますので、もう少し細部的に検討させていただきたい。

りいただき効果的な資料室の使用内容等ご相談したいと考えております。

また、栄に保管してあることは承知いたしており、正式にご依頼があれば収集を行いたいと考えておりますが、同じような資料もたくさんありますので運営委員にご相談申し上げ選択をいたし開拓資料室の活用を検討したいと考えております。

小学校のグラウンド

整備計画は

○定久議員

昨年、教育長は、町内各小学校とも計画を立てて、グラウンドの改良整備を行うとのことでしたが、整備計画と進捗状況について伺います。

○教育長

今年から五箇年計画で、各学校のグラウンド整備計画を行いたく教育委員会として立案いたしております。

今年度は、仁倉小学校を夏休みに行い、幌岩小中学校については役場の機動力で考えておりますので、十月か十一月頃に整備いたしたく、予算化したしており、今後予算等理事者にお願いしたい

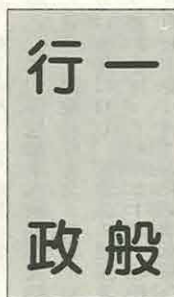
と考えております。

○定久議員

若里小学校のグラウンド整備計画は、どのように考えておられるのか伺います。

○教育長

整備計画の中心というところで、各学校のグラウンド毎に違いますから、専門家等に見ていただき十分に検討し格安に出来る方法を考えてまいりたい。



湧網線を守る

運動と利用は

○石村議員

湧網線廃止について、オホーツク本線との絡みは、現在、具体的にどのようなようになっているのか伺います。

また、六月十六日の国鉄湧網線絶対確保沿線住民総決起大会は、網走管内選出の全ての国會議員、道議會議員に案内を出したのかど

うか伺います。

なお、五月号広報から「国鉄乗車券は佐呂間駅で買いますよ」が掲載されなくなった理由について伺います。

○助役

湧網線とオホーツク本線の絡みは、町長が行政報告の中で出ておりますので省略したいと思っております。

また、大会については、参議員は選挙の最中で省いておりますがあとは全員にご案内を差し上げております。

なお、五月分だけは、記事の掲載の関係で、たまたま掲載しておりませんが、以前は、ずっと掲載しており、六月号から今後も掲載していきたいと考えております。

○石村議員

最近、町の長期旅行の場合、交通関係の会社に委託し、佐呂間駅を利用していい傾向があり、交通関係の会社とも相談し、一寸手間がかかりますが、佐呂間駅で発券することによる事業量の増加の考え方について伺います。

また、駅で計画した敬老列車と全く同じコースで、老人クラブが計画したのですが、極細かく駅とも相談し合い、利用度を増す努力に協力してあげることが必

要でないかと考えますが、伺います。

○助役

今後、議会、職員を問わず、国鉄利用の場合、極力、地元で切符を買うように、庁内で協議を進めてまいりたいと考えております。

また、交通公社等を通じて旅行の手配をする場合、はたして佐呂間駅に限定出来るかどうか協議をしてみたいと考えております。

なお、寿大学が主催し計画を立てておりますが、国鉄の敬老列車に期日の問題等なぜ利用出来なかつたのだらうかと思いますが、今後、湧網線存置のため、敬老列車について利用してもらおう関係者にお話しして見たいと思います。

○石村議員

湧網線を守るため全住民の意識の高揚を図るための運動として、住民大会を開く必要があると考えますが伺います。

○町長

地方の意識を盛り上げることは必要なことでございます。ただこの問題は知事の意見書が出なくても運輸大臣が認可するかどうかの差し迫った問題であり、知事を先頭に北北海道大会、全国大会

を早急に開き認可阻止の運動を行うことが極めて大切であると考えております。

また、湧網線単線を将来共守ることは至難の業であり、オホーツク本線に大きな期待をかけております。

七月一日、紋別で開催の国鉄オホーツク本線建設促進期成会役員会で、約一年かかり、コンサルタントに依頼をした第三セクターの収支計画の概要が発表になり、この計画を関係市町村で充分検討をして、第三セクターとしての発足に関係市町村が協力し、道が参画しなければ運輸大臣は第三セクターの認可は当然いたしませんから道の参画について、今後、知事との交渉になって来ようと考えております。

Smokin' Ckan

たばこは

町内で

買いましょう

まちの話題

北海道優良勤労
青少年顕彰を
受賞

永代町の大戸由美子さんがこの度、北海道優良勤労青少年顕彰を受賞し、八月十二日表彰状が町から伝達されました。

大戸さんは若佐中学校を卒業後佐呂間医院に看護婦助手として勤務し、以来、親切で熱心な看護を続けてきました。

また、商工会の従業員会の役員として活躍し、五十六年には商工会長から永年勤続表彰を受けてお

ります。

このような活動が認められ受賞したもので、大戸さんにはこれからも地域青少年のリーダーとしてますます活躍されますよう期待致します。

病院へかからない
健康な家庭へ

表彰状

佐呂間町国民健康保険

佐呂間町国民健康保険では、毎年、被保険者皆様の健康増進を目的として、国民健康保険税を完納し且つ、医療給付を全く受けていない世帯に対し、記念品の贈呈及び表彰を行っておりますが、昭和五十七年度に於ける未受診世帯の方々に対し次のとおり表彰しました。

(敬称略)

●八年間無受診世帯

若 佐 秋元益吉

宮前町 所 ケサ

●六年間無受診世帯

宮前町 佐藤利昭

●四年間無受診世帯

若 佐 江川美幸

富武士 気仙サヨ

北 初貝直一

●三年間無受診世帯

栄 藤田 清

西 富 鴨井仁司

永代町 奥野桂子

宮前町 筒井秀雄

浜佐呂間 野崎善史

●二年間無受診

宮前町 榎本幸治

浜佐呂間 西川貞夫

幌 岩 鈴木茂光

若 里 新保貴司

●一年間無受診

大 成 政岡宣行

若 佐 高崎ウメノ・野尻 剛

橋本繁勝・金森農夫也

上ヶ島しずゑ・佐藤ナ

ミ・高橋スケ

武士 影山 博

栃 木 腰野久直

朝 日 岡山三男

西 富 坂下ソメ・山原英世

宮前町 片平 弘・杉本信子

知 来 森 国光・島沢克己

仁 倉 河村 登・田中温行

幌 岩 池田利夫

浜佐呂間 齊藤敦夫

東 佐々木幸次郎

若 里 中野渡スミ

以上の四十世帯の方です。

町民の皆様には、今後共健康に留意され、明るく豊かな家庭を築かれますようご祈念申し上げます。

栄Aチームが優勝

第七回 全町
ソフトボール大会

八月七日、第七回全町ソフトボール大会が町内の各グラウンドで行なわれました。

町内のソフトボール熱の高まりとともに年を追って盛大になってきたこの大会も、今年は男子は三十二チーム、女子は五チームが出場しました。

試合は猛暑の中での戦いとなりましたが、チームワークを生かして熱戦が繰り広げられ栄Aチームが優勝しました。

尚、順位は次のとおりです。

・男子

一位 栄A

二位 浜佐呂間ハマナス

三位 若佐よろず

下町ポロリーズ



・女子
一位 西富
二位 佐呂間D
三位 佐呂間C

町政日誌

8月	町民運動会実行委員会
3日	交通安全街頭啓発
4日	5日〜9日 第二回定例監査
6日	農業関係団体長会議
7日	心配ごと相談所開設
9日	民生委員協議会
10日	例月出納検査
〃	作況調査
〃	農業所得調査専門委員作況調査
10日〜14日	全国児童画巡回展
12日	社会文教常任委員会
18日	老人クラブ連合会役員会
〃	総務財政常任委員会
22日	臨時作況調査
23日	第九回寿大学
〃	町内校長会
24日	三才児健康診査
〃	精薄者更生相談
26日	学運協体育大会
28日	第五回町民運動会
30日	第二十一回農業委員会
31日	第五回作況調査

国保ひとくちメモ No1

国保をよくご存じですか？

医療保険は相互扶助を基盤としているため、原則として、すべての人に強制適用されます。

会社勤めしている人とその家族は、職場の健康保険（社会保険、組合健保、共済組合等）に加入しこれらのいずれの保険にも加入していない方は、すべて国民健康保険（国保）に加入しなければなりません。

佐呂間町での国保加入者は、昭和五十八年七月末日現在で、世帯数で一千三百七十一世帯、人数で四千六百五十四人で、佐呂間町の総人口（八千六百三人）の約五十四％の方が国保に加入していることとなります。

国保はたすけあいの保険です

幸福な家庭と健康な笑顔。それはわたしたちがより良い生活を願ううえでの基本といえるでしょう。

国保は、加入者の人々が病気や「ケガ」をしたときに、経済的負担が少しでも軽くすむように加入者の収入に応じてお金（保険税）を出し合い、医療費に当てようという制度です。

お医者さんにかかったとき、あなたが支払うのは費用三割だけで、七割は国民健康保険から支払われています。そしてその費用は保険税と国・道や町の負担金、補助金でまかなわれています。

大切にしよう

あなたの体と
みんなの国保



「やまなみ」今月号では季節の作業についてお知らせします。

植林のための基礎技術

良い山づくりをするためには、適当な時期に適切な方法で植林しなければなりません。

植林の前に大切なことは、①生産目標の設定 ②適地の選定 ③植林樹種の決定 ④植林木数の決定、があります。

山に苗木を植え付ける場合、植林のじやまになる伐採木や枝を取

り、雑草、ササ・灌木等を刈り払い苗木を植え付けやすくする作業をします。これを「地ごしらえ」といいます。

地ごしらえは刈り払った雑草木やササを巻き落したり、焼き払ったりしますが、ブルドーザーのようなものでは地表を全部はぐような地ごしらえは良くありません。

むしろ雑草木等を短かく切って植林地にバラまく方が地力維持の点からも良いと思います。

カラマツは野ねずみ（えぞやちねずみ）に弱く陽光を好む樹種なので、全刈又は焼払い地ごしらえを、トドマツ類は筋刈地ごしらえをします。

地ごしらえが適切であれば雑草木の発生を抑制し、植林木の良好成育が期待できます。

良い苗木の選び方

苗木の良否は植え付け後の活着（苗木が根づくこと）及びその後の成育に大きく影響し、植林の成否の大きな要素になります。

苗木を選ぶポイントとしては、一、良い品種系統であること。二、発育が完全に組織が充実していること。

三、枝葉が四方に良く張りガツッリしていること。

四、梢端の芽が大きく、苗の長さ

に対して重いもの。

五、地上部と地下部との釣り合いが良くとれていること。

六、根は細根が良く発達し根張りが良く、充実して再生力の強いものであること。

七、秋芽が伸びたり梢端部が徒長していないこと。

八、病害虫や損傷のないこと。

などですが、苗木をどんなにいいねいに扱い植え付けても、鳥足根、ダンゴ根、伸びすぎたゴボウ根を植え付け時に切断したり、長い根が植え付け時に地上部に出たりすると、わずかな乾燥でも枯死を招きます。

植えつけ方法

苗木を掘り取ってから植栽まで（掘り取り、選苗、仮植、荷作り運搬等）の取り扱いで、傷をつけたり、乾燥させたり、運搬中にむれさせたりは絶対にしない事が大切です。

植え付けの操作は活着の成否を支配し、植林初期の雑草木との競争関係を有利にする等初期成長に多大な影響を及ぼすので、ていねいに地ごしらえをした所にていねいに植えることが最も大切です。

植えつけの手順としては、一、植えつけ地点を中心に六〇×七〇cm四方の落葉や雑草、その

他の地被物を取り除く。

二、腐植質を含んだ地表の黒い土を片側にかき寄せて置く。

三、中央部に直径四〇cm、深さ三〇cm位の植え穴を掘り耕した土をかき上げる。

四、掘った穴の底に先に寄せておいた黒い土を入れ、おわんを伏せたように中央を七〜八cm位高くする。

五、苗木を植え穴に入れ、根が穴の底の黒い土をまたぐように四方に広げ、苗木をゆさぶりながら植え穴に落葉や石等が入らないようにして、黒い土や穴の土を根の間に良く入るように戻しその上にかき上げた土をかけ、両足で適度に踏みつける。

六、苗木の根元を落葉や枝で地表をおおい乾燥を防ぐ。

植え付けでの苗木の配列は規則正しくして、下刈りの能率向上とともに苗木に傷をつけないようにすることも大切です。

植え付け時期

春に苗木が生育を始める前の四月下旬〜五月下旬までと、秋の苗木の生育が終わる頃の九月月上旬〜十月上旬に実施すれば安全です。

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

運転免許証

更新時講習会

▽日時 十月五日(水)
午後六時から

▽場所 町民センター集會室

※講習は有効期限(誕生日)の一
年前から受講できます。

更新手続きは、有効期限一ヶ月
前からです。

尚、受講される方は、免許証、
筆記用具をご持参下さい。

(安全協会佐呂間支部)

行政相談所開設

▽日時

十月二十一日 午後一時三〇分

▽場所

町民センター

▽相談員

町行政相談員、町

日常生活での心配ごと、なやみ
ごと、苦情等を気軽に相談にお

いで下さい。

(役場総務課)

皆さん、検察審査
会をご存じですか

この制度ができてから、今年は
ちょうど三十五周年にあたります。

検察審査会とは、市町村選挙管
理委員会の選挙人名簿をもとにし
て「くじ」で選ばれた十一人の民
間人が検察官のした不起訴処分が
正しいかどうかを審査するのがお
もな仕事です。

あなたも検察審査員に選ばれる
ことがあります。

もし選ばれたときは、すすんで
会議に出席いたしましょう。

皆さんの周囲でも、詐欺、おど
し、交通事故など被害にあつて警
察や検察庁に訴えたが、その事件
を裁判にかけてくれない、それが
原因で損害賠償金も満足に払って
もらえない、どうも納得できない
こんな不満をお持ちの方はいませ
んか。

このような方は泣き寝入りしな
いで、すぐ検察審査会にご相談下
さい。

相談、申立費用は無料です。

●相談場所

北見市寿町四丁目(裁判所内)

北見検察審査会事務局(☎〇一

五七―二四―八四三)

ご存じですか?

里親制度

里親とは、家庭に恵まれない子
どもを里親にわけて養育してい
ただく方です。

いろいろな事情から家庭的な環
境に恵まれない子どもがいる場合
実親が子どもといっしょに生活で
きるようになるまで、親代りにな
つて家族のひとりとしてあたたか
い家庭の中でのびのび育てようと
いうのが、児童福祉法という里親
制度です。

現在、網走管内には八十組の里
親さんがおり、一才から一八才ま
で四十六人の子供たちが三十組の
里親さんのもとで生活しています。
この制度が活発に運営され、恵
まれない子供たちがすこやかに育
つていくための大きな助けとなる
ように皆様のご理解、ご協力を、
お願い致します。

里親になることを希望される方
は、北見児童相談所または、福祉
事務所、役場民生課窓口申し出
下さい。

詳しくは、北見児童相談所(☎
〇一五七―二四―三四九八)

昭和五十九年

歌会始お題「緑」

▽詠進要領

(一)詠進歌は、自作の歌で一人一首

とし、未発表のものに限りま
(二)用紙は半紙とし、毛筆で自書し
て下さい。

(三)病氣又は身体障害のため毛筆で
自書することができない場合に
は、他人が代筆しても差し支え
ありませんが、代筆の場合は、
すべてその理由を書いた別の紙
を添えてください。

なお、盲人の方は、点字で詠
進しても差し支えありません。
(四)書式は、半紙を二つ折りにし、
開いて右半面にお題と歌、左半
面に郵便番号、住所、氏名(本
名、ふりがなつき)生年月日及
び職業を書いて下さい。

▽受付期間
九月一日～十月十一日

▽送付先
☎一〇〇 東京都千代田区千代
田一番一号 宮内庁

(封筒に詠進歌と明記して下さい)

調停相談所開設

遠軽簡易裁判所では、次のとお
り無料で調停相談を実施しますの
で、金銭貸借関係、家庭内のもめ
ごと等お気軽にご相談下さい。

▽日時 十月七日(金)

午後一時～午後四時

▽場所

佐呂間町民センター

▽相談担当者

調停委員
裁判所書記官
(遠軽簡易裁判所)

文化講演会

講師 穂積隆信氏

「積木くずし」著者

「今、家庭に求められるもの」

日時 9月24日(土)
午後6時30分～8時30分

場所 佐呂間町民センター

主催 佐呂間町教育委員会
佐呂間高等学校PTA



山菜取りに注意!

国有林内に熊が出てお
ります。

山菜取りなどで入林し
ないようにご注意下さい。

鳥獣保護員



国立函館視力障害 センター五十九年度 入所者募集

募集人員

(中卒者対象 五年課程)

あん摩マッサージ指圧、はり、

きゅう科第一部 三〇名

(高卒者対象 三年課程)

あん摩マッサージ指圧、はり、

きゅう科第二部 二〇名

あん摩マッサージ指圧、はり、

きゅう科第一部第三学年編入

若干名

受付締切

○あん摩マッサージ指圧、はり、

きゅう科第一部、第二部

昭和五十八年十一月十五日

○あん摩マッサージ指圧、はり、

きゅう科第一部第三学年編入

昭和五十九年一月十日

申し込み先

最寄の福祉事務所又は支庁福祉

課、国立函館視力障害センター

(☎〇一三八一五九一二七五)

自衛官募集

募集種目

二等陸士

二等海士

二等空士

身分



国家公務員特別職

資格

心身共に強健な満十八才以上二

十五才未満の者

待遇

初任給 九六、二〇〇円

ボーナス 衣食住 無料

勤務条件により各種手当支給

退職金(陸上の場合)

一任期目(二年目) 一〇〇日分

二任期目(四年目) 二〇〇日分

受付場所

自衛隊旭川地方連絡部遠軽募集

事務所(☎〇一五八四一二一六

六一六)

水打吟社

十月例題「秋の空」「秋刀魚」
十一月例題「文化の日」「冬仕度」

郷土色豊かで明るい

文化のまちづくりをめざして

第十七回総合文化祭のご案内

- 主催 佐呂間町文化連盟
- 後援 佐呂間町教育委員会・佐呂間町
- 会場 佐呂間町民センター
- プログラム

月日	種目	内容
9月22日	町民いこいの夕	ダンスと音楽
23日	文連まつり	文連交流会・ミニ芸能祭
24日	文化講演会	「積木くづし」の穂積隆信氏
24日	作品展	写真・絵画・書道・手芸・木工 芸・華道・児童作品等の展示・ 盆栽展は駅前バス車庫にて開催
25日	〃	十二市町村の仲間がオホーツク 文化の味を披露します。
26日	〃	少年向映画・マンガ等
10月16日	連続ブロック 芸能発表会	少年映画劇場
11月3日	文連芸能祭	舞踊・民謡・尺八・詩吟・詩舞 郷土芸能等

※多数のご来場、ご観覧をお待ちしております。

第2回

サロマ湖駅伝競走

10月10日(月)体育の日

沿道での声援をお願いします。

== 主催 佐呂間町体育協会 ==

第6回

全町あるけあるけ運動

～ 幌岩山登山 ～

10月9日(日)

*各地区あるけあるけ運動会場まで
お集り下さい。

町内交通事故死ゼロ 300日達成 500日目標を設定

五〇〇日目標

達成日 昭和59年3月21日

本町では、昭和五十七年十一月八日から、交通事故死ゼロを続けてまいりました結果、町民の皆さんの交通安全に対する理解とご協力により、この九月三日で、第一目標であります三〇〇日を達成致しました。

これに引き続き、第二目標として昭和五十九年三月二十一日を達成日とする五〇〇日目標を設定致しました。

本町における交通事故の発生状況をみてみますと、八月末現在で十八件発生し、三十名の方が負傷しております。

昨年同期と比較してみますと、死者は二名減となっておりますが、発生で十一件の増、負傷者二十二名の増と、発生件数、負傷者共に昨年を大きく上回っています。

この事からもわかるように、死亡事故の発生はなくても、交通事故自体は増加傾向にあり、その中には、一つ間違えば死亡につながる重大事故も起きています。

この現状を踏まえ、町民の皆さんにおかれましては、家庭内で交通安全について話し合う機会を多

く持ち、悲惨な交通事故を絶滅するため尚一層の御協力をお願い致します。

子供とお年寄りを 事故から守ろう

全国の交通事故による死者数は昨年、六年ぶりに九千人を超えましたが、今年に入っても、依然として増加の傾向にあります。

死亡事故の内容を見ると、相変わらず子供とお年寄りが多く、とりわけお年寄りの犠牲者が目立ちます。

クルマ社会の中で弱い立場にあるお年寄りを、交通事故の巻き添えにするのは悲しいことです。

今年も、「秋の交通安全運動」(九月二十一日～三十日)が行なわれますが、「子供とお年寄りを交通事故から守ろう」が重点テーマの一つとなっています。

そこで、とりわけ犠牲者の多いお年寄りの事故防止に焦点を合わせ、交通の面から見たお年寄りの心理と行動特性について考えてみました。

お年寄りの心理や 特性を知ろう

お年寄りの心理を知る―交通事故を防ぐ第一歩として、お年寄り特有の心理と行動特性について見てみましょう。

〈心理その一〉

変化する交通状況に対応できないケースが目立つ

お年寄りは、交通ルールをはじめとする「交通環境」の変化についていけないことがあります。

また、お年寄りの頭の中は、昔の記憶が大半を占め、交通量の多くなった現在の状況を実感としてつかみにくい心理状態にあります

〈心理その二〉

体力や運動機能の衰えにもかかわらず、いつまでも若い気持ちでいることが多い。

年をとると、当然、体力をはじめ運動機能や感覚機能が低下します。

しかし、本人はまだまだ若いつもりでいるため、この「意識と現実」のギャップが事故を招きやすくしています。

〈心理その三〉

ときに、身勝手と思われるような行動をとることがある。

基本的な交通ルールを知っているお年寄りでも、身勝手とは思えない行動をとることがある。

例えば信号の変わりめで横断を始めた、近道をして横断してはいけないうところを渡ったりしてしまふようなことです。

◎交通量の多い道路をクルマの流れを無視してゆうゆうと歩いて渡るお年寄り、近づいてくるクルマをよけようとしているのに、体はなかなか動かない

ドライバーの皆さん、お年寄り特有の心理や行動特性を理解し、お年寄りを交通事故から守りましょう。



ぼくとわたしの作品

今月は、幌岩小学校のおともだちの作品を紹介します。



三年 鈴木 秀紀

どっしりした感じがでていますが、一画目をそりあげ、二・三画目を少しねかせて書くともっとよくなります。



四年 和泉 茂樹

バランスよく書けていますが、筆の入り方、止め方をもう少し練習しましょう。



五年 鈴木 啓之

「野尻湖のぞう」
巨象の住んでいたところのようすがわかります。
森林とか象の色に変化があるものとよかったです。



六年 工藤 由美子

「赤ずきん」
物語を読んだの絵です。
場面はよくとらえています。色のぬり方を工夫しましょう。

交 差 点

▶昭和58年交通事故発生状況

(8月末現在)

発生件数	18	(7)
死者	0	(2)
負傷者	30	(8)

()内57年同期

▶交通事故死ゼロ500日目標

達成日 昭和59年3月21日

▶昭和57年度交通安全標語入選作

しんごうが青でも左右をたしかめて

(佐呂間小 杉森 壮志)

「だいじょうぶ」その気持ちが事故のもと

(佐呂間小 面 好美)

気をつけようあなたの行く道帰る道

(佐呂間中 小林千恵子)

ベビーフェイス



永代町

中谷 耕三さん

長男 圭佑ちゃん

昭和五十七年五月二十六日生

初めまして、ボク圭佑です。
体重三、四二〇gで、予定日ピッタリにママのお腹から出てきました。
パパとママは、最初は女の子がほしかったんだって……..
だから、時々、赤い服を着せられて、女の子に間違えられるの得意になっちゃうんだ。
でも、二人ともボクにベッタリ。
おじいちゃんもおばあちゃんも可愛いがつてくれて、ボクはとってもしあわせです。
今は、毎日、ママとの散歩とパパと遊ぶ事が楽しみだけど、早く友達とも一緒に遊べるようになりたいなあ。

“サロマ湖を 皆んなで守ろう”

赤潮などの発生要因

リンを含む家庭用合成洗剤の
使用を自粛しましょう

国鉄乗車券は 佐呂間駅で 買いましょう!

(湧網線の利用度を
高めるため御協力を)

読書体験文

コンクール

北海道読書推進運動協議会と北海道新聞社では、読書体験文コンクールを実施しておりますので、ふるって応募下さい。

昭和五十八年度

読書体験文コンクール実施要項

一、趣旨

本道では家庭や地域における親子の読書や読書グループの学習など読書活動が活発化している。

その体験文を公募して優秀作品を顕彰し、読書活動の一層の普及充実に資する。

二、主催

北海道読書推進運動協議会

北海道新聞社

三、体験文の区分と内容

(一)家庭読書の部

家庭において「親子の読書」又は、「家庭の読書」を毎日の生活に定着させ、子供の健やかな成長に努めている体験を書いたもの。

(二)地域読書の部

地域において「親子文庫」や「PTA文庫」等の読書活動を行ない、読書普及に努めている体験を書いたもの。

(三)個人読書の部

読書を通じて、生活を豊かにした体験を書いたもの。

四、応募の方法等

(一)応募の資格
道内に居住する成人

(二)応募点数
体験文の区分ごとに一人一篇

(三)用紙、字数等
ア、四〇〇字詰原稿用紙

家庭読書の部

五枚 二〇〇〇字以内

地域読書の部

八枚 三二〇〇字以内

個人読書の部

五枚 二〇〇〇字以内

イ、表紙

体験文には表紙をつけ、区分題名、住所、氏名、年令、職業の他、家庭読書の部には、子供の年令、学年、男女の別を、地域読書の部には、団体名、住所代表者氏名、構成員数を記載して下さい。

(四)締切

昭和五十八年十一月三十日(当日消印有効)

(五)送り先

〒069-001

江別市文京台東町四一番地

北海道立図書館内

北海道読書推進運動協議会

〒011-3816 八五二二

ご寄付

ありがとうございます

▼香典返しを廃して

●社会福祉協議会へ

(亡父金男さん)

苫小牧市

(亡母ミヨさん)

浜佐呂間

(亡母フデさん)

永代町

(亡妻スミさん)

永代町

若佐老人クラブへ

(亡夫矩夫さん)

若佐

仁倉老人クラブへ

(亡父幸吉さん)

仁倉

浜佐呂間老人クラブへ

(亡母ミヨさん)

浜佐呂間

身障佐呂間分会へ

(亡夫正年さん)

知来

その他

社会福祉協議会へ

佐呂間 漁協 青年部

若佐保育所父母の会へ

若佐カラオケ同好会

若佐地域老人クラブへ

若佐カラオケをたのしむ会

私たちのまち

(前月比)

人口 8,607(+4)
男 4,177(+3)
女 4,430(+1)
世帯数 2,604(+1)

8月31日現在

《慰門》

佐呂間 民謡友の会

●榮保育所へ

啓生

特別養護老人ホームへ

永代町

今井 彬夫さん

小川 正夫さん

榎本 信一さん

高垣 博さん

吉野 正夫さん

広瀬 金子さん

堀 ヒテさん

渡井 靖夫さん

橋本 義男さん

岡田 栄蔵さん

久保 浅松さん

サロマ湖 観光センター